

一、労働者側

(1) 三月一日付ヲ以テ関東木材産業労働組合控原製材争議団本部ノ名ヲ以テ聲明書ヲ發シ一対ニ對シテ態度ヲ表明スルト同時ニ「木材労働青年」に撥す「全木場労働者諸君に訴ふ」ナル檄文ヲ各工場ニ配布ス

(2) 組合側ニ在リシハ「セネスト」ヘノ進取運動トシテ三月七日工場代表者會議ヲ組合事務所ニ開催約二十名集會シ「本争議ハ木場資本家ノ挑戦シアリ製材協會其ノ態度ヲ放棄スヘシ」ナル旨ノ抗議文ヲ作製シ七日ノ勞資會見ノ際之ヲ提出セリ

(3) 争議基金ノ募集ヲ行ヒタルニ日本ケース争議団江東政治學校等ノ外団体の應募ナク其ノ額十日ニ滿タス
八日第二回交渉會見ノ後争議団員及應援団員約四十名ハ會

見ノ場所ナル木場町五高橋方ニ至リ小石ヲ投ジ窓硝子二十一枚ヲ破損シ深川沙崎署ニ森橋文治外六名檢束サレ

(5) 三月九日争議ニ二一ス第一號ヲ發行シ各所ニ配布シ基金募集ノ為基金袋ヲモ之ニ添付セリ

一、工場主側

(1) 東京製材協會ハ一切ノ交渉権ヲ工場主ヨリ委任サレタルヲ以テ副會長高橋庄之助其ノ他幹部カ折衝ノ任ニアタリ三月七日八日ノ二回ノ會見ヲ行フ

(2) 三月八日ノ會見決裂スルヤ協會側ハ暫時形勢ヲ觀望セムトス

一、交渉状況

(1) 第一回ノ會見三月七日午後五時四十分ヨリ高橋庄之助事務所ニ於テ協會側高橋副會長伊藤會計幹事中西新作外五名組